



集落支援員 川前地区 全体報告会

2013年6月26日(木)
川前活性化センター



「集落支援員」は、高齢化や人口減少が進み、集落の維持が難しくなっている中山間地域で、集落の特色や課題を洗い出し、集落の維持・活性化につなげる役割を担います。いわき市では平成23年度から3年間、川前地区でモデル事業として始めました。

「将来も安心して川前で暮らすために、住民一人ひとりに何が出来るか、ふるさととの将来のことをみんなで考え、実行しよう」という掛け声のもと、川前4地区(川前・上桶売・下桶売・小白井)に各2名の集落支援員が活動しています。各地区では、アンケート調査やワークショップを実施して現状

を把握し、少子高齢化や働く場所が少ない、交通の便が悪い一などの課題や「お宝・自慢」、「地域をよくするためにできること」を話し合いました。

今回、4地区におけるワークショップなどの結果から地域の「あるべき姿」をまとめ、地域の住民の方々と交えて報告会を開催しました。意見交換では、「自分たちにできることにベストを尽くそう」「モデル期間は今年度で終了しても、集落支援制度は継続してほしい」などの活発な意見が出されました。

今後は、地域の方々などと力を合わせながら、具体的な集落対策を実施していく予定です。



ワーク・ライフ・バランス =

男女がともに、人生の各段階において、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など様々な活動について自らの希望するバランスで展開できる状態をいいます。
(第二次いわき市男女共同参画プラン用語集より抜粋)

ダイバーシティ =

「多様性」のことです。性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会といえます。
(内閣府男女共同参画局ホームページ用語集より抜粋)

Book



『ほめる生き方』

著者: 西村 貴好 出版社: マガジンハウス

「ほめる」を実践すると、人も組織も明るく元気になります。ほめ言葉が、周りの人の心とあなた自身の心を守ります。その効果について、実例を挙げながら「ほめる生き方」をするための方法をご紹介します。



『コミュニティデザイン 人がつながるしくみをつくる』

著者: 山崎 亮 出版社: 学芸出版社

「コミュニティの力が課題を解決する」をテーマに、コミュニティのデザインを考えます。地域や人とのつながりをあらためて考えたい人にお勧めです。

Wing vol.39 2013年10月10日 発行

いわき市男女共同参画情報紙 ウィンガー

発行: いわき市 市民協働部 男女共同参画センター
〒973-8408 いわき市内郷高坂町四方木田191番地
tel.0246-27-8694 fax.0246-27-8641

編集長: 中野理恵 副編集長: 近藤春美
編集委員: 伊藤幸恵, 山崎美佐子, 山中裕子

あなたもWingに参加してみませんか。
ご意見・ご感想をぜひお寄せください。
E-mail: danjokyodosankaku@city.iwaki.fukushima.jp



Wing は、3月・10月発行

いわき市男女共同参画センターは、市民と行政の協働により男女共同参画社会の実現を目指します。男女共同参画社会についての啓発、人材育成、情報収集・提供、活動・交流支援を行っています。

執務時間: 8:30~17:15
休館日: 土・日曜・祝日などの休日、12月29日~1月3日

